

# 2022 年度工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部



工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部

部長 宮川 純一



## 1. 組織構成

学園祭実行委員会八王子祭実行部は部長、副部長、会計の三役に加え、渉内局、渉外局、アルケータ局、コンサート局、広報局、資材局、イベント局、企画局の計8局、2年生60人と1年生49人で構成される。

## 2. 方針

本実行部は参加団体・本学生に重きをおき八王子祭を一から企画・運営するとともに、人材の豊富さ、個々の積極性の高さを生かし様々な方面から八王子祭を盛り上げる。今年度は、一昨年、昨年と完全な状態で対面開催をすることが出来なかった為、来場者の目線に重きをおき、集客率の向上・世界観作り・認知度の向上の三点に力を入れる。集客率の向上により、学生の成果発表の場を活性化する。より高いクオリティで八王子キャンパスにテーマに沿った世界を作り出すことにより、このコロナ禍の状況で気分転換をしてもらう。認知度の向上によって、大学の広報活動に貢献する。加えて、新宿祭実行部との連携により、2つの学園祭を成功させるという方針の基で活動する。

## 3. 目的

### a) プレ八王子祭

一般学生及び近隣住民に本委員会の活動と10月に行う八王子祭を宣伝し、一般学生には気分転換の場を提供する。加えて、委員が学園祭の企画・運営を経験し、八王子祭をより質の高いものにするを目的とする。

### b) 八王子祭

ターゲット層を明確に定め、来場者の視点に重きをおき学園祭を運営することにより、学園祭における大学の広報を行う。また学生団体に発表の場を提供し、学園祭の活性化を促し大学広報の範囲を拡大する。また対面開催でのキャンパスでの世界観を実現させることにより、安心かつ楽しめる八王子祭を運営することを目的とする。

### c) 新宿祭

新宿祭実行部ではまかなえない部分を補うことで、より質の高い学園祭を運営する手助けをする。また、1年生を主体とする企画で新宿祭に参加し、本実行部と新宿祭実行部の連携をより強いものとする事を目的とする。

## 4. 活動内容

### a) 全体会議

毎週水曜日の放課後、本実行部所属の委員で全体会議を行った。局の枠組みを超えた意見交換を行うことで意識統一をし、またPowerPointを用いて膨大な量の情報を視覚化・整理、また委員へメモを取ることを促し、委員への各局の活動状況等の情報共有を確実なものにすることができた。

### b) プレ八王子祭

本学の一般学生及び近隣住民を主な対象とした学園祭である。学生団体にも模擬店を運営してもらうことで、来場者や参加団体に気分転換してもらうことを目的とし、普段の大学生活では体験できないステージ企画と参加型イベントを企画・運営した。また翌日0時より開始する歩け歩け大会への学内生の参加を促し、10月に実施する八王子祭を宣伝し、来場者数を増加させることも目的とした。ステージ企画では学生自治会常任委員会八王子支部と学科連合委員会八王子支部との結束・協力体制を築き、各団体の特色を生かした企画を行うことができた。また、本委員会の1年生にも活動の成果を発揮できる場所を提供することにより、本委員会の一員としての自覚をより強固なものにすることができた。

### c) 歩け歩け大会

プレ八王子祭終了後、深夜0時から正午までの間で本学の八王子キャンパスから新宿キャンパスまでの約43kmの道のりを歩く大会であったが新型コロナウイルスの情勢を鑑み、開催予定日を6月中旬へと延期した。本大会では参加者同士が助け合いながら長距離を歩くことにより絆を生み、今後の学生生活の糧としてもらうことを目的とした。加えて、参加者全員に安全かつ楽しかったと言ってもらえるような大会とすることを目標とし、その為の事前調査や広報活動、また開催の適切な判断を下すことでこのコロナ禍での安全性向上に出来る限り努める事とした。しかし開催日当日の悪天候により、参加者の安全を第一に考え、本実行部で今年度の中止判断を下す結果となった。悔やみきれない形となってしまったが、次年度以降の成功へ全力で尽力する。

### d) 八王子祭

本実行部は八王子祭を来場者の満足と学生団体が活気にあふれるものにするため活動し、10月8日と10月9日に第60回八王子祭を開催した。今年度は「ハンプレッダーズ」によるアーティストライブ、「沙羅」「アイドル鳥越」による芸能企画、キャンパスコモンでのメインステージ、模擬店、2号館第二ステージ、1号館では教室展示、脱出ゲーム、東門・受付門・装飾展示を行った。アーティストライブは満席の405人、芸能企画は46人という動員数であった。また感染症拡大防止として入場時に手指消毒、検温、マスクの着用、ライブ中の声出し禁止、席の間隔を1m開けることを徹底したことにより、発症した場合八王子祭実行部へ連絡するよう周知していたが、ライブ終了の2週間後も感染報告はなかった。また東門と受付門、メインストリートやキャンパスコモンの各所に設置した装飾は学園祭特有の雰囲気由来場者に味わっていただき思い出の一片となった。今年度は3年ぶりの完全開催という事だったが、2482人という来場者を迎え、4年前の来場者数とほぼ同等の数字になった。本実行部としては、一年間委員全員で先の見えない中進んできた結果が現れたと考えている。運営に関しても、準備段階から問題なく八王子祭を終えることが出来た。次年度はより多くの来場者を迎え、過去見たことのないような活気や影響力をもった八王子祭を運営してほしい。その中で新たな工夫が次年度の一番の大きな課題である。

## 5. 総括

今年度の八王子祭実行部は先の見えないすべてが未知の中、一年間全力で努力し続け八王子祭を成功させることが出来た。第60回八王子祭実行部は全員でコロナ禍の分思いを込めた八王子祭を行うことが出来た。

以上を2022年度八王子祭実行部の総括とする。